

社 保の栞

被保険者証の氏名表記について



(保99)

平成29年9月4日

日本医師会常任理事 松本 純一

被保険者証の氏名表記につきましては、性同一性障害を有する被保険者又は被扶養者から、被保険者証において通称名の記載を希望する旨の申出があったことから、保険者がやむを得ないと判断した場合には、被保険者証における氏名の表記方法を工夫しても差し支えない取扱いとなりましたので、ご連絡申し上げます。

その際、様々な場面で被保険者証が本人確認書類として利用されていることに鑑み、裏面を含む被保険者証全体として、戸籍上の氏名を確認できるようにすることとされています。

例えば、被保険者証の表面の氏名欄には「通称名」を記載し、裏面の備考欄に「戸籍上の氏名は○○」と記載することや、被保険者証の表面の氏名欄に「戸籍上の氏名」を記載するとともに「通称名は○○」と併記すること等が考えられます。

各医療機関等におきましては、戸籍上の氏名と通称名の両方が記載されている被保険者証により受診された患者さんについて、どちらの氏名で請求するのか、診療券(診察券)や診療録(カルテ)等に記載する氏名の取扱いなど、注意が必要となることがありますので、厚生労働省におきまして、別添のとおりQ&Aが作成されております。

つきましては、貴会会員への周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

<添付資料>

被保険者証の氏名表記について

(平29.8.31 保保発0831 第6号・保国発0831 第2号・保高発0831 第2号)

厚生労働省保険局保険課長・国民健康保険課長・高齢者医療課長)

公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて



日医発第566号 (保102)

平成29年9月7日

日本医師会長 横倉 義武

医薬品は、原則として承認された効能・効果及び用法・用量を前提に保険適用されておりますが、保険適用を迅速に行うことでドラッグ・ラグを解消する観点から、一定の条件を満たした医薬品(薬事・食品衛生審議会(薬食審)において公知申請に係る事前評価が終了した医薬品)については、今後追加される予定の効能・効果及び用法・用量についても保険適用を可能とする取扱いが、平成22年8月25日に開催された中央社会保険医療協議会(中医協)総会にて了承されたところです。

これを受け、添付資料に示されている1成分1品目については、追加が予定された効能・効果及び用法・用量についても既に保険適用されておりました。(平成29年3月17日付け日医発第1256号にてご連絡。)

今般、当該品目について追加が予定されていた効能・効果及び用法・用量が、平成29年8月25日付

けで承認されたため、上記取扱いによらず保険適用が可能となりました。これにより、当該品目の今後の使用に当たっては、新しい添付文書をご参照いただくこととなります。

つきましては、貴会におかれましても本件に関してご了解頂きますとともに、貴会管下関係医療機関等への周知方につきご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本件については、日本医師会ホームページのメンバーズルーム中、医療保険の「医薬品の保険上の取扱い等」に掲載いたします。

(添付資料)

公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて

(平29.8.25 保医発0825第5号 厚生労働省保険局医療課長)

アクテムラ皮下注162mgシリンジ及び同162mgオートインジェクターの 医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う 留意事項の一部改正について



日医発第567号（保103）

平成29年9月7日

日本医師会長 横倉 義武

平成29年8月25日付け保医発0825第6号厚生労働省保険局医療課長通知により、標記製剤の保険適用上の取扱いに関する留意事項が一部改正されましたのでお知らせ申し上げます。

今回の改正は、同日付けで標記製剤の効能・効果に「高安静脈炎、巨細胞性動脈炎」が追加されたこと等に伴うものであります。

つきましては、今回の改正内容に関して、貴会会員に周知下さるようお願い申し上げます。

なお、本件につきましては、日本医師会ホームページのメンバーズルーム中、医療保険の「医薬品の保険上の取扱い等」に掲載いたします。

(添付資料)

アクテムラ皮下注162mgシリンジ及び同162mgオートインジェクターの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正について

(平29.8.25 保医発0825第6号 厚生労働省保険局医療課長)

「ヒアリ」情報

特定外来生物に指定されているヒアリについては、6月に国内で確認されて以降、現在までに各地で相次いで確認されています。

ヒアリの確認状況、見分け方、防除手法、刺された場合の対応及び生態等につきましては、環境書のWEBサイト（下記URL）及びヒアリに関する啓発チラシ「ヒアリに注意」をご参照ください。

参考URL

○環境省ホームページ「ヒアリに関する諸情報について」

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>

